

(仮称)ほんごうパーク 遊びの見守り活動 運営ルールと安全管理マニュアル

1. 活動の目的と位置付け

1)活動目的

- ・町民主体による見守り活動を通して管理運営体制を構築する。
- ・日常的な利用を促進する（放課後・休日の小学生、地域住民の活動）。
- ・日常的な利用状況を確認し、設計・管理運営計画へ反映する。

2)位置付け

主催：町

運営：ほんごうパークファン

事務局：コムテック

※ほんごう BOX は、管理運営計画の検討の一環として、(株)コムテック地域工学研究所が仮置きしています。

3)主な対象

小学生（自分で遊びに来る子ども中心）

4)実施日

- ・緊急対応の観点から、平日放課後を中心に実施。
※緊急時に町がすぐに対応できない日は除外（土日祝で町担当が所用で休日出勤できない日）
- ・草刈り作業日を除く（毎月、連続した2～3日間）※直近では8月最終週の予定
- ・雨天中止
- ・できれば、2名1組が安心

5)スケジュールカレンダーの広報

- ・毎月カレンダーを作成し、学校や公共施設等へのカレンダーの掲示
- ・HPFのインスタへの掲示

※初回は建設水道課より広報予定。

- ①案内ちらし+9月カレンダーを学校、学童等へ配布（A4）、掲示（A3）する。
＜配布先＞本郷学園（小学校）、児童クラブ(本郷)、Go郷寺子屋、公共施設
- ②町LINEでの通知
- ③開催概要をWSだより（9/1号）に記載

2. 運営ルールと安全管理

1) 見守りの概要

- ・ ほんごう BOX（プレハブ）を拠点に、遊びを見守る。（外遊びも中遊びもあり）
- ・ 遊び道具の貸し出しを行う。

2) 見守りスタッフ

- ・ ほんごうパークファンメンバーが担当し、検討会や LINE で予め当番の日時を決定。
- ・ 本マニュアルに熟読・理解頂く。
- ・ 見守りスタッフの名札を付ける（ほんごう BOX 内に保管）
- ・ ワークショップ等の催しを行う際は、事前に検討会または町へ相談し、承認を得る。

3) 見守りスタッフの役割

① 鍵の管理

- ・ 鍵の受け取り・返却は必ずほんごうパークファンメンバーが行う。
- ・ 以下の要領で事前に鍵を借り、終了後は速やかに返却する。

● 鍵の受け取り、返却手順: 会津本郷陶磁器会館

- ・ 利用の前日の夕方か当日の朝までに、陶磁器会館に行き、担当者 から、ほんごうボックスの鍵を受け取る。
- ・ 担当者が不在の場合には、代理の方から鍵を受け取る。
- ・ 使用後は、速やかに（当日もしくは陶磁器会館の翌営業日中）に、陶磁器会館に返却。

※見守りスケジュールや陶磁器会館の定休日等で受取・返却が難しい場合は、陶磁器会館へ相談。

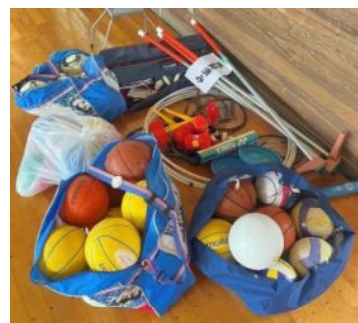
- ・ 陶磁器会館の営業時間と定休日は以下の通り。
 - 営業時間：9～17時（冬期：10～16時）
 - 定休日：水曜日（冬期：水・木曜日）
 - 電話：0242-56-3007

② 遊び道具の管理

- ・ 利用希望者に貸し出しする。「使い終わったら元に戻す」を徹底する。
- ・ 破損等ある場合は使用しない。HPF の LINE やコムテックへ電話で報告する。

● 貸し出し可能な遊び道具

- ・ バスケットボール
- ・ バレーボール
- ・ 竹馬
- ・

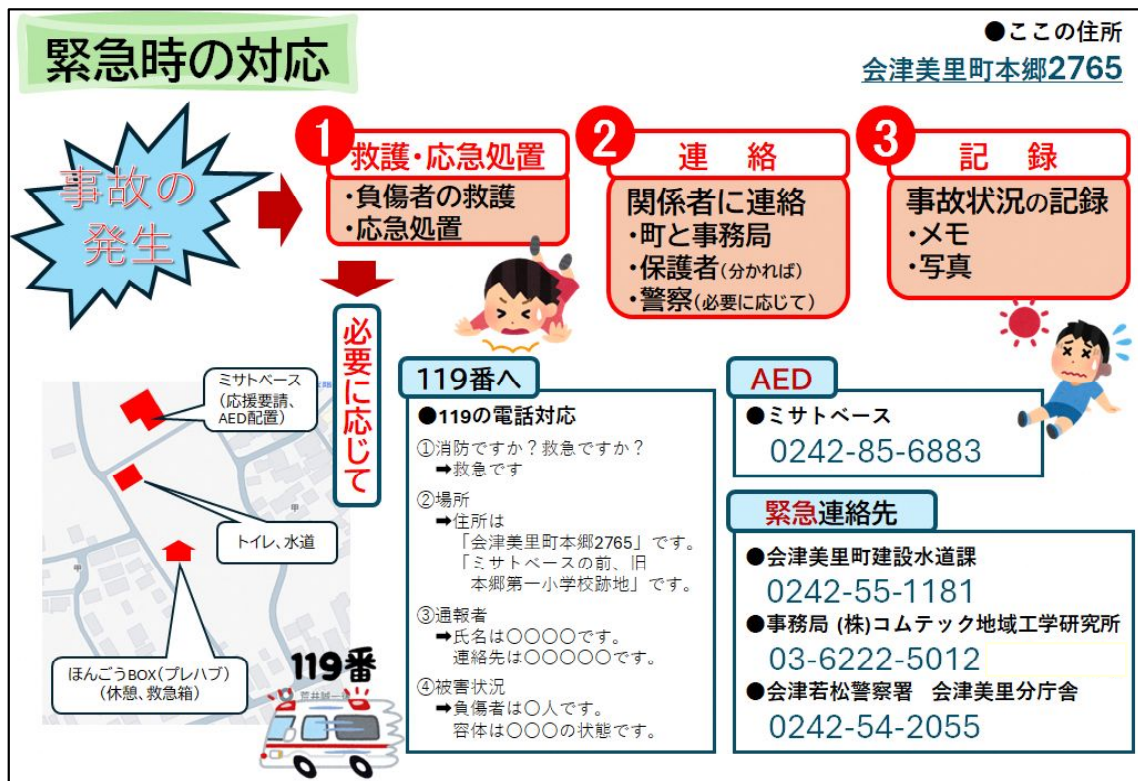


③安全への配慮(見守り)

- ・ 声かけ : 遊びに来た子どもへ挨拶する。
- ・ 事故予防 : 明らかに危険な遊びに対しては注意する。
(例: 火遊び、道具の破壊、プレハブによじ登る)
- ・ 熱中症予防 : 水分補給を呼びかける。
- ・ 事故や問題が起きた際は、負傷者等の救護を最優先に、以下の緊急連絡先へ直ちに連絡する。

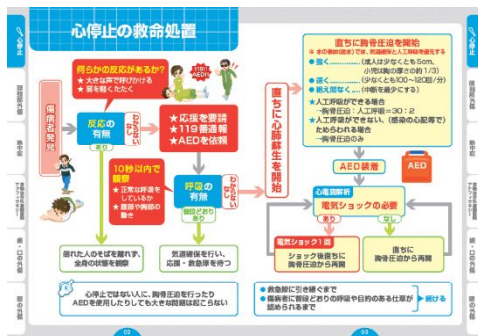
※イベント保険に加入 (予定)

<緊急時の対応 (ほんごう BOX 内に以下を掲示)>



<具体的な対応方法、応急処置>

- 症状別対応フローチャート (『スポーツ事故対応ハンドブック』 独立行政法人 日本スポーツ振興センター)
- 傷害別の応急処置 (『子どもの予防可能な傷害と対策』 公益社団法人 日本小児科学会)



④活動報告

- ・活動日誌への記入、LINE への報告
遊びに来た子どもの数、年齢層、遊びの内容
遊具の破損等の状況、トラブルや問題点、その他気が付いた点、感想
- ・記録用写真 ※個人の SNS への投稿はご遠慮ください。
- ・後日、検討会（月 1 程度）で情報交換し、今後に向けて話し合う。
運営の仕方や拠点についての意見、アイディア
子どもたちの声（意見、アイディア）

⑤その他注意事項

- ・飲み物持参し、水分補給。熱中症には気を付ける。
- ・ほんごう BOX 内でのカセットコンロ等の調理器具等、火気の使用は、原則禁止。
- ・利用後は、清掃を行い、ゴミや残置物等が無い状態に戻す。
- ・消灯、エアコンスイッチを必ず OFF、戸締りを確認する。

<事故報告シート>

事故報告シート → 記入後、写真に撮って、グループ LINE へ共有	
事故発生日時	2025 年 月 日() : 頃
場所 ・ほんごうパーク内の具体的な場所	
事故の発生状況 ・何をしていて ・どうなったのか ・なぜ発生したのか	
負傷した子ども ・学年、氏名 ・負傷状況 など	
関連した子ども ・学年・氏名	
対応した内容 ・応急処置 ・保護者や関係者への連絡 等	
記入者氏名	

<活動日誌>

遊びの見守り活動日誌 → 記入後、写真に撮って、グループ LINE へ共有	
見守り日時	2025 年 月 日() : ~ :
記入者氏名	
1. 遊びに来た子どもについて	・子どもの数: 約 _____ 人 ・年齢層: _____ ・どんな遊びをしていたか、子どもの声(意見やアイディア)
2. 遊具の破損等について (あれば記入)	
3. トラブルについて (あれば記入)	
4. その他、気づいた点 感想 等	
退室時チェックリスト	☐ 活動日誌または LINE に当日の活動内容を記録した。 ☐ 借り出した遊び道具が元の場所に戻っているか確認した。 ☐ 忘れ物がないことを確認した。 ☐ スタッフ証を所定の場所に戻した。 ☐ 窓の鍵を全て閉めた。 ☐ エアコンのスイッチを OFF にした。 ☐ 照明を OFF にした。 ◎最後に、ほんごう BOX のドアを施錠し、鍵を会津本郷陶磁器会館に返却してください。

4)ほんごう BOX 内に設置するもの

<安全対策関連>

- ✓ 運営ルールと安全管理マニュアル（本資料）
- ✓ 緊急時の対応（連絡先等）【掲示も】
- ✓ 応急処置や対応方法マニュアル
 - ・症状別対応フローチャート
 - ・傷害別の応急処置
- ✓ 活動日誌
- ✓ 事故報告シート
- ✓ ペン
- ✓ スタッフ証（2～3 個）
- ✓ 【掲示】注意事項（子ども向け）
- ✓ 【掲示】エリアマップ（ボール遊びのエリア等）
- ✓ 【掲示】利用ルール
- ✓ 救急セット（絆創膏、消毒液、瞬間冷却パック、経口補水液等）

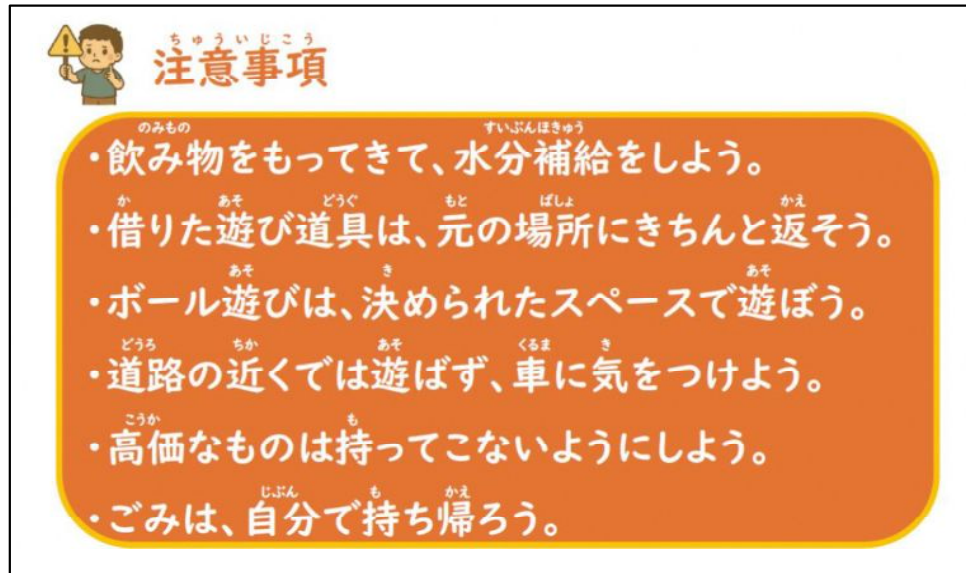
<備品>

- ✓ 遊び道具
- ✓ 掃除道具
- ✓ 長机 1 台、いす 2 脚
- ✓ プレイマット（2m×1.5m くらいが 2 枚）
- ✓ 看板（A 看板に開放中であることを掲示）

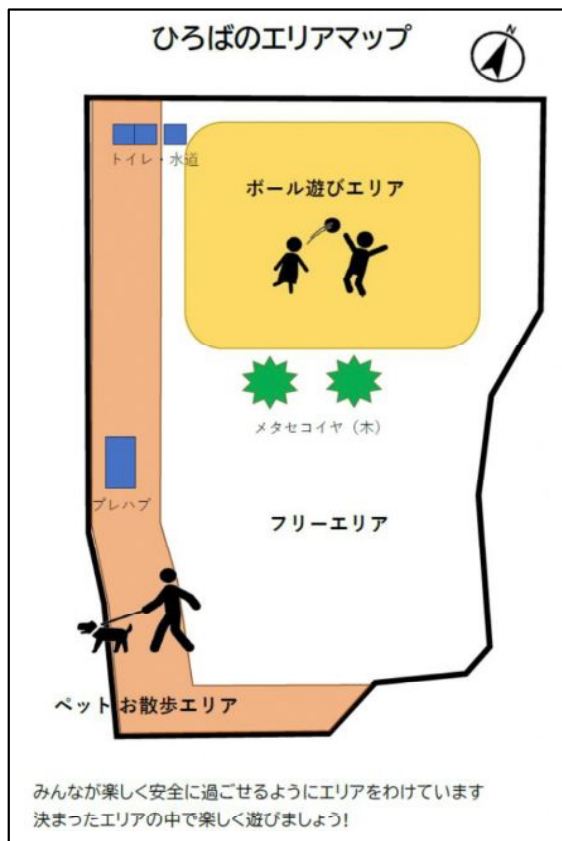
3. 子ども向けの遊びのルール、注意喚起

- ・以下をプレハブの壁面等に掲示

<子どもへの注意喚起>



<エリアマップ>



<利用ルール>

利用者のみなさまへ		
ここはみんなが使う広場です。 周りに危険や迷惑をかける使い方はやめましょう。 みんなが気持ち良く使えるように ルールを守って大切に使いましょう。		
	自転車遊びOK! ・スピードの出し過ぎに注意!	
	ペット連れOK! ・リードを付けましょう ・フンやおしっこは始末しましょう ・決まったエリアで散歩をしましょう	
	ボール遊びOK! ・遊ぶときは周りをよく見ましょう ・決まったエリアで遊びましょう	
	飲食OK!	
	ゴミは持ち帰りましょう	夜間・早朝は静かにしましょう (原則午後6時から午前6時の間) 広場で発生する当事者間の事故等については一切責任を負いかねますので 注意してご利用ください 会津美里町建設水道課管理係 ☎0242-55-1181

4. 見守り活動における責任の所在の整理

◎前提：本見守り活動は業務ではなくボランティアであるため、ボランティアに子どもの監督責任はない。

→チラン等対外的に明記しておく必要がある。

<文案>

本活動は、旧本郷一小跡地で多くの子どもたちが自由に楽しく安心して遊んでいただけるよう、地域住民がボランティアで見守りを行うものです。活動は業務ではなくボランティアで行っています。遊び中の事故やケガについては、保護者の自己責任となります。

- ・跡地の不備は町
- ・プレハブ、デッキの不備はコムテック
- ・遊び道具の不備はコムテック
- ・見守りボランティアの故意・不注意はボランティア個人
- ・それ以外の子どものケガ、事故は自己責任

状況	町 (主催者)	コムテック (委託事業者)	見守り ボランティア	子どもの保護 者
子どもが遊び中に 事故に遭った(設備 不具合等がない場 合) 例：ボールおいか け飛び出し車に ぶつかった、遊 んでいて転んで けがをした、	責任なし →跡地の安全 管理は行責 任。設備の不 具合や安全 対策の不備 が原因の場 合、行政に過 失あり。	責任なし →プレハブ、デ ッキ、遊び道 具の不備が 原因の場合、 過失あり。	責任なし →故意や重大 な過失(危険 な行動を見 て止めなか った等)があ れば、責任を 問われる場 合あり。	責任あり(自己 責任) →民法上の監 督責任があ る。